11/28（金）

神から受けた愛を他者に

御子は私たちのために命を捨ててくださいました。それによって、私たちは愛を知りました。だから、わたしたちもきょうだいのために命を捨てるべきです。（16）

ヨハネの手紙Ⅰ三章13～24節

本当の愛は、生まれつきの私たちの内にはなく、御子の十字架の愛を体験して初めて知ることができるものです。その神の愛は、人間世界に見られるような条件つきの愛ではなく、罪人に対してご自分の命を与えるという、無条件の、限りない愛です。救われるということは、「神は愛である」という教えを頭で理解するだけでなく、自分の存在そのものが神の愛によって捕らえられ、それまで味わったことのない大きな慰めと平安を得ることです。こんな私のためにもキリストは命を捨ててくださったという喜びを知った者たちは、神から受けた愛を他者に向けて生きるようになります。他者への愛の動機は、その人が価値ある存在だからというのではなく、私たちが神の大きな愛を知ったからです。「それによって、私たちは愛を知りました」という言葉が私たちの心からの告白となりますように。